



蹄声会会長杯 第49回 ウイナーカップ (M3)

水沢競馬場 3歳・ダート1400m

6月22日(日) 18:05発走

ウイナーカップは1976年に創設。第1回から第22回までアラブ3歳特別、第23回からサラブレッド3歳芝へ移行。第34回から水沢1400m特別で行われ、第37回から重賞へ格上げ。2021年から盛岡ダート1400mで行われましたが、昨年から再び水沢1400mを舞台に行われています。このレースの1着から3着馬には3歳・地方競馬全国交流「第13回ハヤテスプリント」(7月8日 盛岡ダート1200m)の優先出走権が与えられます。

【注目馬情報】

★ポマイカイ 牝3歳 菅原勲きゅう舎・水沢

昨年、1000万円レース・ネクストスター盛岡を優勝し、2歳最優秀馬に選出されました。同レース優勝後、福島県のテンコートレセンへ移動。坂路で鍛えて帰郷。初戦のスプリングカップを完勝しました。続く門別交流・ネクストスター北日本は相手が強く8着、前走は盛岡1600mが長く3着に終わりましたが、今度はベスト条件とも言える水沢1400mが舞台。首位を奪回し、ハヤテスプリントへ弾みをつけたいところでしょう。

★ピカンチフラワー 牝3歳 板垣吉則きゅう舎・水沢

昨年の2歳新馬勝ち第1号。デビュー5戦目の2歳牝馬交流・プリンセスカップ4着後、南関東へ移籍。大井2戦7、4着から里帰りして初戦のあやめ賞を快勝しました。その後は放牧に出てイーハトーブマイルで復帰。初の1600mでも2着を確保しました。今度はあやめ賞と同じ1400mに戻り、重賞2勝目に王手をかけました。

★ステイクラッシー 牝3歳 瀬戸幸一きゅう舎・水沢

デビュー戦1着、若鮎賞3着、3戦目1着後は精彩を欠き、冬場に南関東2戦を使って再転入し、重賞をメインに2着3回3着1回。控える競馬もこなせるようになったのが収穫です。詰めが課題ですが、安定度抜群。

★サンカリプソ 牝3歳 菅原勲きゅう舎・水沢

門別3戦1勝から岩手入り。2戦目を快勝しました。その後は苦戦を強いられましたが、昨最終戦を快勝してシーズンを終了。今季も2戦目から3戦連続で2着に粘り、持ち味の先行力と粘りを発揮しています。

★キングミニスター 牡3歳 齋藤雄一きゅう舎・盛岡

門別代表で芝からダート変更した交流・ジュニアグランプリに参戦。堂々1番人気に応じて快勝しました。平和賞6着、全日本2歳優駿8着後、大井2戦を使って転入。2戦3着止まりでしたが、底力が脅威的。

★リュウノナポレオン 牡3歳 板垣吉則きゅう舎・水沢

南関東2着3回3着2回から転入。岩手の水が合って5戦2勝2着2回の好成績を収めています。今回が重賞初挑戦。メンバーが一気に強化されましたが、晩成型のレイデオロ産駒がどんなレースを披露するか注目。

文 松尾 康司